

☆ 今日七夕・願いは一つまで！

中国から移入されたお話の中にも、日本人のお気に入りである七夕伝説。各地で七夕祭りが開かれていて、保育園から小学校、いや高校生までもが短冊にお願い事を書き、竹に括りつけています。織姫星と彦星が天の川を挟んで1年に1回再会を果たすなんて、子供心に夢を与えてくれる良い行事であると思います。でも・・・現実はと言いますと、(理科しかも地学の専門である私が夢を砕くのは心が痛いのですが・・・) 二つの星はこの世で一番早いとされる光の速度 (およそ1年で10兆km進む) で動いたとしても17年もかかってしまうくらい離れているんです。もっと現実的なのは、本来は旧暦で七夕を祝うのですが、旧暦の7月7日は必ず上弦の月があり、月のまばゆい光でとてもじゃないけど天の川が見えないんです。ただでさえわかりにくい天の川、それが月の光で見えなくなるのに七夕なんて・・・しかも新暦にするとこの時期はちょうど他府県では梅雨本番。晴れる日が少ないのです。でも沖縄は梅雨も明け、晴れる確率が一番高いシーズン。せめて新暦の7月7日には夜空を見上げてみませんか。



☆ 姉妹校ネイザンヘイル校からの国際交流生



今年もアメリカ・ワシントン州シアトルのNathanHaleネイザンヘイル高校から、10名の生徒がやってきました。引率の先生は2名です。かの国では6月が学年終わり。今は長い夏休みで、9月から新年度が始まるので、思い切り沖縄を楽しめることでしょう。

このプログラムは今年41年目を迎える歴史のある交流です。始まったのは1975年。ちょうど私が高校2年生の時。

そうです私の同級生が最初に派遣されたメンバーだったのです。あれからずっと続いているなんて、とてもびっくりです。数ある沖縄の高校でもこれだけ長く交流が続いているところはないでしょうね。沖縄一の歴史のある「海外校との姉妹校プログラム」と思います。

彼らは、今日7日より生徒は各クラスに入って日本式の授業を受けます。2月にネイザンヘイル校へ短期留学した生徒の家にホームステイをしながら1週間ほど授業を受けます。また、来年2月には、こちらから約10名の生徒がシアトルでホームステイをしながら授業を受けることになっています。

※ 本日は七夕。せっかくですから、浴衣を着て歓迎の挨拶です。シックな黒浴衣、黒い帯を締め颯爽と舞台上上がると、予想通りの生徒の反応・・・満足！ しかし、その場では気を取り戻していましたが、その直前の職員朝礼では、『西郷さんみたい』とか『犬は？』とか、『やくざ？』とか、散々です。その先生方の言い分は、『ほめ言葉』らしいのですが、当の私はショックですよ！ でも、留学生には受けました。よかった、よかった。



これか！